

成形伸縮目地材

1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和7年版9章2節に規定する成形伸縮目地材とする。

2. 種類

(1) 形状による区分

付着層タイプ	保護コンクリートに対する付着層を備えたキャップと本体を組み合わせ、所定の品質を有する目地材
アンカータイプ	保護コンクリートに対するアンカー効果を備えたキャップと本体を組み合わせ、所定の品質を有する目地材

(2) 用途による区分

高さ可変型	高さ可変範囲が20mm以上のもの
高さ固定型	高さ可変範囲が20mm未満のもの

3. 品質・性能等

- (1) 品質・性能について、「評価内容（別紙）」の項目を確認している。
- (2) 主要な資材について、材質および資材メーカーから申請者の製造所への納入ルートを確認している。
- (3) 性能について、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

成形伸縮目地材

評価内容（別紙）

項 目		品 質 ・ 性 能	備 考													
材 質	本 体 [表示項目]	申請者の規定による。														
	キ ャ ッ プ [表示項目]	申請者の規定による。														
	ベ ー ス [表示項目]	申請者の規定による。														
寸 法	キ ャ ッ プ 幅 (mm)	25														
	キ ャ ッ プ 高 さ (mm)	25 以上														
	本 体 幅	キャップ幅の80%以上														
	キャップの最低かぶり長さ (mm) (可変型のみ)	15 以上														
	ベースの最低かぶり長さ (mm) (可変型のみ)	10 以上														
	ベ ー ス 幅 (mm) (可変型のみ)	本体幅 + 40 以上														
品 質	機 能	保護コンクリートの上面から下面にまで達するよう高さの調節が可能なこと。														
	外 観	<ol style="list-style-type: none"> 1. 異常に湾曲していないこと。 2. 異常に起伏していないこと。 3. 異常に粘着する部分がないこと。 4. 裂けた箇所、切断箇所、折れ曲がり、破損箇所がないこと。 														
	寸 法 許 容 差	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>寸法許容差 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャップ幅</td> <td>- 2.0</td> </tr> <tr> <td>本 体 幅</td> <td>-10.0</td> </tr> <tr> <td>長 さ</td> <td>- 0.5</td> </tr> <tr> <td>高さ可変範囲 (可変型のみ)</td> <td>- 2.0</td> </tr> <tr> <td>ベ ー ス 幅</td> <td>- 5.0</td> </tr> </tbody> </table>		項 目	寸法許容差 (%)	キャップ幅	- 2.0	本 体 幅	-10.0	長 さ	- 0.5	高さ可変範囲 (可変型のみ)	- 2.0	ベ ー ス 幅	- 5.0	
		項 目	寸法許容差 (%)													
		キャップ幅	- 2.0													
本 体 幅		-10.0														
長 さ		- 0.5														
高さ可変範囲 (可変型のみ)	- 2.0															
ベ ー ス 幅	- 5.0															
性 能	本 体	保護コンクリート層のムーブメントを緩衝するよう、所定の柔軟性、復元性を有しているもの。														
	キ ャ ッ プ	所定の寸法安定性、耐荷重性、耐摩耗性、耐衝撃性を有しているもの。														
	ベ ー ス	防水層を傷つけないもの。														

成形伸縮目地材

項 目		品 質 ・ 性 能			備 考	
性 能 (続 き)	圧 縮 性 能	20±2℃ 60±2℃	項 目	付着層タイプ	アンカータイプ	
			最大荷重 (N/cm) 注)	160 以下	240 以下	
			目 視 検 査	試験後、キャップ表面に割れが生じないこと。		
	注) 試験体 (高さ 80 mm、長さ 50 mm) 単位長さ当たりの最大荷重					
	伸 び 性 能	-20±2℃ 20±2℃	項 目	付着層タイプ	アンカータイプ	
			目 視 検 査	試験後、キャップ付着層部とモルタル面が離脱しないこと。	試験後、キャップアンカー部分とモルタル面が離脱しないこと。	
耐 摩 耗 性 能	20±2℃	項 目	付着層タイプ	アンカータイプ		
		摩耗質量 (mg)	1,000 以下			
加 熱 収 縮 性 能	70±2℃	項 目	付着層タイプ	アンカータイプ		
		加熱収縮率 (%)	0.5 以内			
		目 視 検 査	試験後、キャップ部に反り、ひずみ等著しい変形がないこと。			
耐 衝 撃 性 能	20±2℃	試験後、キャップの表面にひび割れや破断がないこと。				
耐 候 性 能	63±3℃	試験後、キャップ部にひび割れが生じないこと。				
試 験 方 法	<p>1. 圧縮性能試験は、JIS K 7220 に準じて、20±2℃および60±2℃において、圧縮速度 1.0mm/min で、0～30%の圧縮を行う。 注 1)</p> <p>2. 伸び性能試験は、JIS K 7220 に準じて、-20±2℃および20±2℃において、引張速度 1.0mm/min で、0～30%の引張りを行う。 注 1)</p> <p>3. 耐摩耗性能試験は、JIS K 7204 に準じて、20±2℃において行う。</p> <p>4. 加熱収縮性能試験は、JIS A 5756 の「6.9 加熱収縮率試験」に準じて、70±2℃において、168 時間加熱した後、標準状態で 4 時間放置する。 注 2)</p> <p>5. 耐衝撃性能試験は、JASS 8 の「付 8. JASS 8 T-501-2014 メンブレン防水層の性能評価試験方法」の「3.2 耐衝撃試験」に準じ、20±2℃において、おもりは 100g、高さは 1.5m とし、3 試験片各々のキャップ幅方向中心上に落下させるように行う。</p> <p>6. 耐候性能試験は、JIS A 6008 の「8.10.2 b) 促進暴露処理」に準じ、63±3℃において行う。 注 3)</p> <p>7. 上記以外については、成形伸縮目地材規格の「7. 試験」による。</p> <p>注 1) : 試験体は、実際の使用条件に近い形状のものとする。 2) : 試験体は、キャップ部のみとする。 3) : 試験体は、原則としてキャップ部から作成する。</p>					
そ の 他	<p>圧縮性能は、下図の圧縮性能試験体に示す 1cm 当たりの最大荷重値を規定し、N/cm と表示している。</p> <div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">圧縮性能試験体</p> </div>					